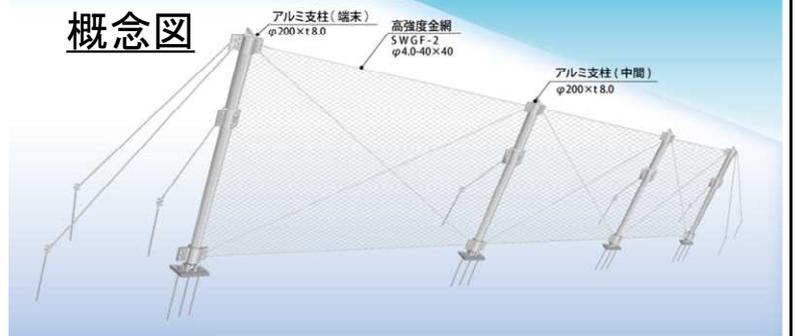


# 事後評価表

様式6-2

<b>技術名</b> エネルギー吸収型軽量落石防護柵(ウルトラライティフェンス) (今回の評価は雪崩予防柵として活用された現場における評価)	登録 No.
	27D1002

<b>施工内容</b>	
施工年月	平成28年11月
追跡調査年月	平成31年2月
発注機関	津川地区振興事務所
工事名	(主)新発田津川線 雪崩予防柵設置工事
施工地	東蒲原郡阿賀町綱木地内
施工数量	雪崩予防柵タイプ L=99.5m



**新技術の概要**  
 工場製品を主部材とし、軽量のアルミニウム支柱を用いた斜面上に設置可能なエネルギー吸収型の落石防護柵である。  
 緩衝金具をバランスよく組み合わせることにより、最大300kJの落石エネルギーに適用可能で、雪崩予防柵として適用も可能である。

## 施工状況



## 完成



## 追跡調査



<近景>

<遠景>



## 事後評価結果

比較した従来技術	鋼製雪崩予防柵	
項目	評価	評価内容
経済性	◎	斜面掘削や法面保護が不要で、施工時の経済性は大幅に向上。
工程	◎	斜面掘削等が不要なため、工程は大幅に短縮。
品質出来形	○	工場製品の組立のため、品質は向上。
安全性	○	高所での重機作業がないため、施工時の安全性は向上。
施工性	○	部材が軽量で、組み立てが容易なため、施工性は向上。
環境	○	当該現場では既設モルタル吹付法面を取壊す必要がなくなり、廃棄物は減小。
事後評価		

◎: 優れている    ○: やや優れている  
 □: 従来技術と比べて同程度  
 △: やや劣っている    ×: 劣っている

活用上の留意点	
---------	--

## 新技術問い合わせ先

会社名	和光物産 株式会社
所属部課	防災事業部
担当者	石山 正恵
TEL	025-250-1125